

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年9月20日(2007.9.20)

【公開番号】特開2006-288612(P2006-288612A)

【公開日】平成18年10月26日(2006.10.26)

【年通号数】公開・登録公報2006-042

【出願番号】特願2005-112414(P2005-112414)

【国際特許分類】

A 6 1 B 1/04 (2006.01)

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/04 3 7 0

A 6 1 B 1/00 3 2 0 B

G 0 6 T 1/00 2 9 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月8日(2007.8.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体内を時系列に沿って撮像した一連の画像を表示するとともに、該一連の画像の撮像期間を示すタイムバーを前記被検体内の部位毎に色分けして表示する表示手段と、

前記一連の画像に表示された前記被検体内の各部位を判別し、この判別した被検体内の各部位の画像群にそれぞれ時間的に対応した前記タイムバーの各領域に前記被検体内の各部位に対応する代替色をそれぞれ表示する制御を行う制御手段と、

を備えたことを特徴とする画像表示装置。

【請求項2】

前記代替色は、前記タイムバー上で互いに隣接する代替色との境界を形成できるコントラストを有していることを特徴とする請求項1に記載の画像表示装置。

【請求項3】

前記代替色は、主色であることを特徴とする請求項1または2に記載の画像表示装置。

【請求項4】

前記制御手段は、前記一連の画像に含まれる各画像の色情報を検出し、該色情報をもとに前記被検体内の各部位を判別することを特徴とする請求項1～3のいずれか一つに記載の画像表示装置。

【請求項5】

前記制御手段は、前記一連の画像に含まれる各画像の輝度情報を検出し、該輝度情報をもとに前記被検体内の各部位を判別することを特徴とする請求項1～3のいずれか一つに記載の画像表示装置。

【請求項6】

前記制御手段は、前記表示手段に対し、前記被検体内の部位の画像に時間的に対応した前記タイムバー上の位置と前記被検体内の部位に対応する前記タイムバー上の代替色とを示す指標を表示する制御を行うことを特徴とする請求項1～5のいずれか一つに記載の画像表示装置。

**【請求項 7】**

前記色情報は、前記一連の画像に含まれる各画像の平均色を形成する色要素であり、  
前記制御手段は、前記色要素のレベル変化に基づいて前記被検体内の各部位を判別すること  
を特徴とする請求項4に記載の画像表示装置。

**【請求項 8】**

前記制御手段は、前記一連の画像に含まれる各画像の輝度のレベル変化に基づいて前記  
被検体内の各部位を判別することを特徴とする請求項5に記載の画像表示装置。